



7/8

明治安田生命保険相互会社 電話音声明瞭機が寄贈されました

本町と包括連携協定を締結している明治安田生命相互会社から、同社が開発した電話音声明瞭機「サウンドアーチ」1台が寄贈されました。

「サウンドアーチ」は、固定電話に取り付けることによって聞きやすく変換してくれるため、難聴者でもスムーズな電話対応が可能となります。同社は、聞こえに悩む人たちの社会的孤立などの社会課題解決に貢献するため、包括連携協定を結んでいる自治体に寄贈しています。



6/17

シルバーリハビリ体操士 感謝状が贈呈されました

シルバーリハビリ体操指導士として、地域住民の健康づくりや介護予防の推進に長年貢献された指導士に茨城県知事賞が贈呈されました。

代理贈呈として上遠野町長から指導士の小滝京子さんに感謝状が手渡されました。

各地区で開催されているふれあいサロンでの普及活動をはじめ、さらなる活躍の場が広がることを期待します。

叙勲受章

春の叙勲／瑞宝双光章【消防功労】

森田 宏二さん(石塚)

森田さんは、昭和49年に常北町消防団に入団し、以後49年間の永きにわたり消防団員を務められました。また、令和2年から城里町消防団団長を3年間務められ、町の安心安全の地域づくりにご尽力されました。

森田さんは、「大変光栄に思うとともに、この度の受章は、家族をはじめとした、多くの方々を支えられたおかげです。」と感謝の言葉を述べられました。



春の叙勲／瑞宝単光章【消防功労】

船橋 涉一さん(下阿野沢)

船橋さんは、昭和52年に桂村消防団に入団し、40年間の永きわたり消防団を務められました。

平成14年に一時退団されましたが、平成20年に副団長として再入団され、15年間副団長を務められ、町の安心安全の地域づくりにご尽力されました。

船橋さんは、「身に余る光栄に感激しているとともに、この度の受章は、多くの方々のご指導とご支援の賜です。」と感謝の言葉を述べられました。



6/20

水戸ホーリーホック 「スポーツ体験教室」

水戸ホーリーホックの地域貢献活動として「スポーツ体験教室」が、常北小学校で行われました。水戸ホーリーホックアカデミーコーチの指導により、サッカーの基礎である「止める・蹴る」を練習しました。試合では、アカデミーコーチが決めたルールの中で仲間と協力しながらプレーしました。

スポーツ体験教室を通して、サッカーの楽しさやチームスポーツの大切さを学びました。



7/6

水戸ホーリーホック 「JX金属サッカー教室」

水戸ホーリーホック「JX金属サッカー教室」が、七会町民センター「アツマーレ」で行われました。常北中学校・桂中学校サッカー部の生徒と城里町PR大使である杉浦選手・長尾選手が参加しました。二人の大使から、サッカーのプレー中に意識していることや休みの過ごし方などを聞くことができ、貴重な体験をすることができました。サッカー教室では、他チームの良い部分を吸収でき、上達につながる機会となりました。



SPORTS

6/
9~30

第43回 関東ブロックスポーツ少年団 競技別交流大会 (ミニバスケットボール競技)茨城予選大会

水戸市総合運動公園体育館ほか

県内107チームが参加した上記大会において、城里HORORUSが第3位の成績を収めました。この成績を受け8月23日~25日に関東の上位チームが参加するさざ波大会(千葉県南房総市)に参加します。



▲第3位 城里HORORUS



7/23

ミセスユニバースジャパン2024日本大会 町内在住の行政書士が出場

城里町に在住し、行政書士事務所を営む富田まゆ子さん、ザ・リッツ・カールトン東京で行われた「ミセスユニバースジャパン2024日本大会」に出場しました。大会前の6月26日(水)には、出場報告も兼ねて上遠野長を表敬訪問しました。

本大会は、参加者が自ら持つ本来の可能性に気づくことで生きることが楽しくなる、そのような女性を一人でも多くつくる「すべての女性」のためのコンテストです。

富田さんは、ミセスユニバースジャパンへの挑戦を通して、すべての女性が活躍でき、多様性に満ちた社会を創り上げたいという想いを発信し、茨城県を盛り上げたいと語っていました。

茨城県ふるさと魅力発見隊事業

6/2 ホタルの観賞会



北方地内の桂川周辺において、「御前山と那珂川を活性化する会」(安藤栄一会長)が、河川の清らかさと自然の豊かさの象徴とされるホタルの観賞会を開催しました。当日は雨天の影響によりホタルは少なめだったものの、町内外からの参加者は、幽玄なホタルの舞に魅了されていました。

6/15 ホタル観賞会(ホタルの夕べ)



小勝地内の藤井川支流の水田周辺において、「ななかいの里ホタルの夕べ」と題したホタル観賞会を開催しました。この観賞会は、「ななかいの里生産研究部会」(盛田守部会長)が、豊かな自然環境で栽培される日本一おいしいお米の産地をPRする取り組みの一環として開催したものです。

当日は、町内外の親子連れ93人が参加し、幻想的なホタルの光に魅了されていました。

6/9 第8回 古内茶庭先カフェ



上古内・下古内地区において、茶園などが庭を開放し、自慢のお茶とお茶請けを振る舞うイベント「第8回古内茶庭先カフェ」が開催されました。同イベントは「古内地区地域協議会」(岩野一弘代表)が茨城県の三大銘茶の一つである古内茶の魅力を町内外の方々に知ってもらい地域を盛り上げようと、企画されました。

出店者の方によると、何十年も古内地区に住んでいるが、こんなに地域が賑わった景色を見たのは初めてで、とても感慨深いと話していました。

次回は、11月上旬頃に予定されていますので、ぜひご参加ください。